



講
談

江戸
端
唄

講談 神田鯉栄
端唄 本條秀太郎 本條秀英二
庵唄 城端庵唄保存会
司会 下澤弥生

講談がつなぎ、江戸端唄がつなげる城端の未来

城端に生きる 江戸芸能Ⅰ

城
端
庵
唄

「城端・庵唄のふるさと 江戸芸能の風景」の好評を受けて
リニューアル企画「城端に生きる江戸芸能」が
スタートします！
一線で活躍する江戸芸能の“旬”の担い手と
お馴染みになった本條秀太郎さんの
江戸端唄などの演奏を通して
城端に息づく江戸芸能を
さまざまな角度から
お楽しみいただきます！

2021年 3月6日 土

14時開演 (13時開場)

南砺市城端伝統芸能会館 じょうはな座

富山県南砺市城端 1046

JR城端駅から徒歩15分 / 東海北陸自動車道福光ICから車で5分

お問合せ 0763-62-5050 (じょうはな座)

チケット

全席指定 前売3,000円 当日3,500円

プレイガイド

先行発売 Joint6 会員特典 10%OFF 12月6日(日) じょうはな座

一般発売 12月13日(日)

じょうはな座 / 福野文化創造センター / 井波総合文化センター /
福光福祉会館 / 砺波市文化会館

アーツナビ www.arts-navi.com / 富山県民会館 / 富山県教育文化会館 /
新川文化ホール / 高岡文化ホール

主催：一般社団法人じょうはな伝統芸能・文化を護る会

後援：北日本新聞社 / となみ衛星通信テレビ

制作：古典空間

 芸術文化振興基金助成事業

※小学生のご鑑賞には保護者(成人)のご同伴をお願いします。
※乳幼児等未就学の方のご同伴・ご入場はご遠慮ください。※演奏中のご入場はご遠慮いただいております。

講談がつなぎ、江戸端唄がつなげる
城端の未来

城端に生きる

江戸芸能Ⅰ

三年にわたるシリーズ企画「城端・庵唄のふるさと江戸芸能の風景」：三年目は残念ながら中止の止む無きを得ました。しかし、城端が誇るユネスコ無形文化遺産・城端曳山祭、そして「庵唄」は永遠に不滅です。改めてその価値を再認識する機会ととらえ、シリーズをリニューアルしてお届けいたします。

城端につながる物語を伝統話芸・講談界のホープ神田鯉栄さんが、そしてお馴染みとなった本條秀太郎さんによる江戸端唄と城端のために作られた新しい「城端のうた」を披露いただきます！

城端の未来に寄り添う江戸芸能を心ゆく迄お楽しみください。

第一部

江戸芸能と城端

下澤弥生

講談『扇の的』

神田鯉栄

第二部

江戸端唄と城端庵唄、聴き比べ

端唄 本條秀太郎 本條秀英二

庵唄 城端庵唄保存会

本條秀太郎：「新・城端の端唄」をうたう

本條秀太郎 本條秀英二

第一部

「江戸芸能と城端」

城端の絹織物文化は、その水脈を遡ると「源平の戦」にたどり着きます。そして後に、城端の人々にも大きな影響をもたらした「江戸文化」の数々。両者の浅からぬ繋がりを、スライドと共にお話ししてつづるプログラムです。

講談「扇の的」 神田鯉栄

城端で織られた加賀絹：歌舞伎の名作「勧進帳」の一節「加賀絹あまた取りそろえ」につながる源平合戦の物語：「講談師、見て来たようなく」今「旬」の講談師・神田鯉栄があの名場面をイキイキと脳裏に再現します。

【講談とは】落語よりも歴史が古いと言われる講談。主に歴史上の出来事や人物像を伝えます。朗読とは異なり、七五調を基調にした日本語のリズムを活かした独特の調子と、小気味よく張り扇で釈台を叩きつつ物語を描き出します。「講釈師見てきたような嘘をつき」などと言われてきましたが、荒唐無稽な話でもまるで事実のように思わせてしまうのが、講談の魅力と魔力なのです。

第二部

江戸端唄と城端庵唄：聴き比べ

江戸の端唄から城端の庵唄へ。三年前大好評を博した庵唄との聴き比べを軸に、江戸端唄の第一人者・本條秀太郎の情緒あふれる演奏を興味深いお話しと共にとおどけます。

本條秀太郎：「新・城端の端唄」をうたう

加賀絹の強くしなやかな、たおやかさとかがやき：「絹のような感性」を持つ城端の人々からインスパイアされた新しい民謡、そして世代性別を超えた多くの皆さまに唄い継がれるような「庵唄」の披露が予定されています。

【端唄とは】江戸の人々の粋と洒落さより生まれた流行歌で、三味線の演奏と共に座敷などの室内で盛んに演奏されました。武士から町民まで、庶民の生活に根ざした身近で洗練された歌詞や旋律が特徴で、江戸時代すでに唄われていた端唄は、江戸後期には三都を中心に大流行しました。



本條秀太郎
ほんじょうひでたろう



本條秀英二
ほんじょうひでえいじ



神田鯉栄
かんだりえい

アメリカロスアンゼルス生まれ。6歳よりピアノ、10歳より三味線とクラリネットを始める。UCLA在学中2009年より本條秀太郎に師事し、本條秀英二の名を許される。桐朋学園芸術短期大学芸術科音楽専攻日本音楽専修卒業。

2001年三代目神田松鯉に入門。2006年二ツ目昇進。2011年より草加文化大使。2012年イタリア各地の大学で実演。2014年「読売杯」争奪！二ツ目バトル」優勝。2016年真打昇進。現在、都内及び全国各地の寄席出演の傍ら、テレビ、ラジオ、ナレーションの他、勉強会の開催、講談を活かしたイベント、外国人への普及など幅広く活躍中。日本講談協会及び（社）落語芸術協会所属。

お客様へのお願い 安全の為必ずご確認ください

- 座席は前後左右に1席ずつ間隔を空けております。
- チケットに氏名・連絡先の記入欄がありますので、ご記入の上ご来場ください。開場前にご記入いただけますとスムーズにご入場いただけますので、前売り券のお求めをお勧めします。
- 体調の優れない方は来館をお控えください。
- マスクの常時着用と、入口での手指の消毒・検温にご協力をお願いします。
- 入退場時やトイレでは、他のお客様との距離(1m以上間隔を空けてお並びください)や咳エチケットへのご配慮をお願いします。
- 開場は開演の1時間前を予定しております。開演後のご入場はできませんので当日は時間に余裕をもってお越しください。
- 新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止や延期の対応を取る場合がございますので、ホームページをご確認ください。